

1 組織と研究体制

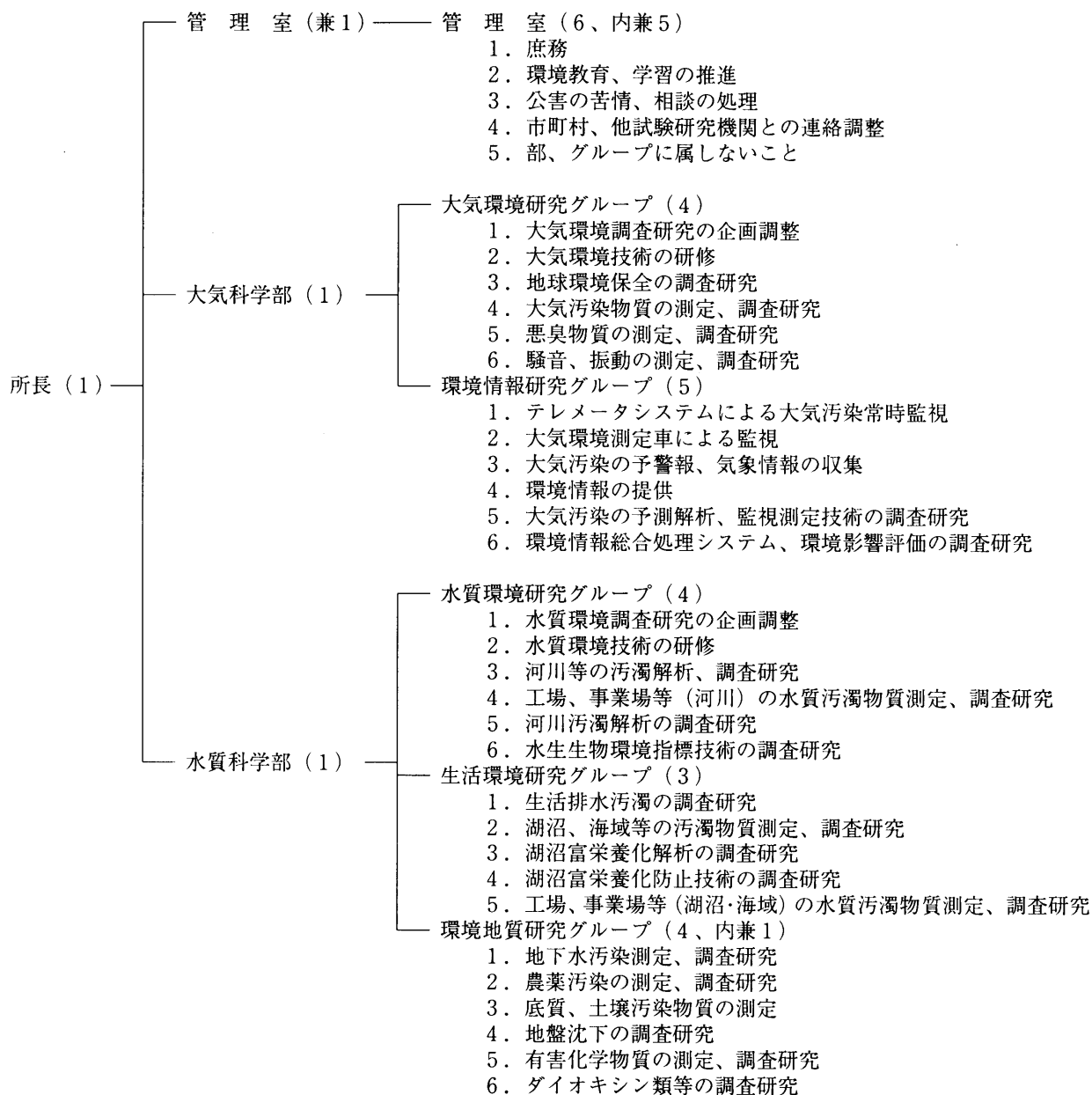
1.1 沿革

- | | |
|----------|---|
| 昭和45年10月 | 大気、水質等の環境監視、工場・事業場等の発生源監視と公害防止施策に必要な科学的情報、資料を行政機関に提供する調査・研究機関として、「福井県公害センター」を設置。
当初の組織構成は調整指導と調査研究の2課からなり、衛生研究所庁舎内に設置。 |
| 昭和47年11月 | 現在地に新庁舎が完成し、同庁舎で業務を開始。 |
| 昭和48年4月 | 組織改正により、調整指導、大気、水質の3課とし、組織の拡充強化。 |
| 昭和55年4月 | 組織改正により、総務、大気、水質、環境監視の4課制とし、公害の調査・研究機関としての組織体制整備。 |
| 平成3年5月 | 名称を「福井県環境センター」と改める。
多方面にわたる環境問題に積極的に対応するために、総務、大気、水質、生活環境、環境情報の5課制とし、組織を拡充強化。 |
| 平成7年5月 | 名称を「福井県環境科学センター」と改める。
機構改革により管理室、大気科学部(2班)、水質科学部(3班)の1室2部、5班制とする。 |
| 平成9年4月 | 機構改革により、班制をグループ制と改め、現在に至る。 |
| 平成14年4月 | 機構改革により、衛生研究所と統合。 |

1.2 組 織

1.2.1 組織と業務内容

(平成14年3月31日現在)



1.2.2 人 員

(平成14年3月31日現在)

区 分	人 員	内 訳							
		所 長	室 長 部 長	管理室	大 気 科 学 部		水 質 科 学 部		
					大気環境研究 グループ	環境情報研究 グループ	水質環境研究 グループ	生活環境研究 グループ	環境地質研究 グループ
事務吏員	5(5)		(1)	4(4)					
技術吏員	23(1)	1	2		4	5	4	3	4(1)
運 転 手	1(1)			1(1)					
事 補	1			1					
計	30(7)	1	3(1)	6(5)	4	5	4	3	4(1)

注：()は兼務職員数を示す。

1.2.3 業務分担

(平成14年3月31日現在)

所 属 名		職 名	氏 名	主 な 業 務	備 考
		所 長	宮 永 信 幸		
管 理 室		室 長	生 田 實	室内の総括	本務衛生研究所
		室長補佐	勝 木 信 子	出納員	本務衛生研究所
		主 任	川 上 一	予算・会計	〃
		主 任	木 村 安 正	会計・管理	〃
		主 事	千 秋 み ゆ き	庶務・会計	〃
		運 転 手	川 崎 範 敏	運転業務・車輛整備	〃
		事務補助員	青 木 節 子	文献等整理・庶務補助	
大 気 科 学 部		部 長	久 嶋 鉄 郎	部内の総括	
	大 気 環 境 研 究 グループ	総括研究員	石 田 幸 洋	グループの総括	
		主任研究員	落 井 勅 一	酸性雨調査	
		〃	山 口 慎 一	悪臭物質調査	
		〃	植 山 洋 一	有害物質調査	
	環 境 情 報 研 究 グループ	総括研究員	宇 都 宮 高 栄	グループの総括	
		主任研究員	武 田 哲	環境情報総合処理システム充実	
		〃	山 田 克 則	環境情報ネットワーク	
		研 究 員	酒 井 忠 彰	監視測定技術	
		技 師	嶋 崎 明 宏	大気環境測定車調査	
水 質 科 学 部		部 長	内 田 利 勝	部内の総括	
	水 質 環 境 研 究 グループ	総括研究員	白 崎 健 一	グループの総括	
		主任研究員	吉 田 耕 一 郎	都市河川調査	
		〃	山 田 寿 寛	河川調査・事業所調査	
		技 師	松 永 浩 美	水生生物調査	
	生 活 環 境 研 究 グループ	主任研究員	加 藤 賢 二	湖沼汚濁解析調査	
		技 師	鉾 碕 有 紀	アオコ除去技術開発	
		〃	塚 崎 嘉 彦	プランクトン調査	
	環 境 地 質 研 究 グループ	総括研究員	高 田 敏 夫	グループの総括	本務大気環境研究G
		主任研究員	山 口 慎 一	地下水汚染調査	
		研 究 員	熊 谷 宏 之	ダイオキシン調査	
		技 師	西 澤 憲 彰	農薬調査	

1.3 予 算

平成13年度歳出決算書（一般会計）

科 目	予算令達額	支出済額	不用額	説 明				備 考
				節	予算令達額	支出済額	不用額	
(款)衛 生 費	250,801,502	250,801,502	0					
(項)環境衛生費	250,801,502	250,801,502	0					
(目)環境衛生総務費	400,000	400,000	0	児 童 手 当	400,000	400,000	0	
(目)公 害 対 策 費	250,401,502	250,401,502	0	共 済 費	1,216,813	1,216,813	0	
				賃 金	4,370,300	4,370,300	0	
				報 償 費	1,701,818	1,701,818	0	
				旅 費	2,215,019	2,215,019	0	
				需 用 費	52,410,234	52,410,234	0	
				消 耗 品 費	33,938,747	33,938,747	0	
				燃 料 費	412,310	412,310	0	
				食 糧 費	18,711	18,711	0	
				印 刷 製 本 費	940,158	940,158	0	
				光 熱 水 費	3,977,004	3,977,004	0	
				修 繕 料	13,123,304	13,123,304	0	
				役 務 費	2,111,710	2,111,710	0	
				通 信 運 搬 費	1,447,170	1,447,170	0	
				手 数 料	664,540	664,540	0	
				委 託 料	40,476,612	40,476,612	0	
				使用料及び賃借料	20,569,596	20,569,596	0	
				工 事 請 負 費	1,995,000	1,995,000	0	
				備 品 購 入 費	120,994,000	120,994,000	0	
				負担金補助及び交付金	2,340,400	2,340,400	0	
(款)商 工 費	1,234,000	1,234,000	0					
(項)鉱 工 業 費	1,234,000	1,234,000	0					
(目)中小企業振興費	1,234,000	1,234,000	0	旅 費	124,000	124,000	0	
				需 用 費	1,000,000	1,000,000	0	
				消 耗 品 費	1,000,000	1,000,000	0	
				使用料及び賃借料	110,000	110,000	0	
合 計	252,035,502	252,035,502	0		252,035,502	252,035,502	0	

1.4 施設の整備状況

1.4.1 平成13年度新規購入備品（100万円以上）

備 品 名	主 な 用 途	メーカー名	型 式	台数
藻類培養試験器	藻類の培養用	(株)伊藤製作所	AGP-150RL	1 式
高速液体クロマトグラフ装置	揮発性物質等分析用	島津製作所	LC-10Avp システム	1 式
オゾン自動計測器	大気中オキシダント測定用	ダイレック(株)	MODEL1150	1 台
大気汚染監視テレメータ有線子局装置	自動測定機制御用	(株)神戸製鋼所	KTL2001	2 局
高分解ガスクロマトグラフ質量分析計	ダイオキシン類分析用	日本電子(株)	JMS-700D	1 式
ダイオキシンサンプリング機器	土壌サンプリング用	東泉テク 他	TS-131 他	1 式
〃抽出前処理機器類	水試料のろ過・固相抽出用	GLサイエンス 他	連続吸引アダプターセット付 他	1 式
〃濃縮・クリーンアップ機器類	KD濃縮、ソックスレー抽出の加温	柴田 他	WB-6C	1 式
〃高速溶媒抽出器	底質試料等の高速抽出	ダイオネックス	ASE-200	1 式
〃コプラナPCB分離装置	分画用(コプラナ分離用の高速クロ)	島津製作所	LC-10Avp システム	1 式
〃ソックスレー自動抽出装置	迅速自動抽出処理	GLサイエンス	ソックスレーサーム	1 台
〃純水製造装置	超純水の製造	ミリポア	Milli-Q EDS	1 台
〃分析施設付帯装置	作業台等付帯備品	ヤマト 他	TWB-97R	1 式
〃分析管理汎用機器	試料の乾燥(水分除去)	東京理化 他	FDU-506+PMH-4 他	1 式